

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立外町小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>自己肯定感を高め、学校行事に主体的に取り組み、自らの夢や目標に向けて努力する児童の育成を推進する。今年度もキャリア教育講話を行い、キャリア教育の充実を図る。</p> <p>保護者のアンケートの結果より、学校では、特に「温かい雰囲気」「やさしい言葉遣い」「児童の夢や目標に向けて努力する」に重点を置いて取り組み、家庭と連携して「家庭での読書」「家族や地域でのあいさつ」を推進する。</p> <p>校内研究のより一層の充実を図る。グループワークやクラスワークの場面で話し合いの持ち方にも注目を当てて研修を深める。</p> <p>児童が安心・安全に学校生活を送ることができるように安全教育・防災教育の充実を図る。火災避難訓練や不審者対応避難訓練、保護者引き渡し訓練等を計画的に実施する。</p> <p>若手教員が年々増えてきているので、新任者指導教員や初任研コーディネーターに働きかけ、若手教員向けの研修の充実を図る。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	『つよく』『かしこく』『あたたかい』外町っ子の育成 ～自ら考え、動く～
----------	-------------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>①「学力向上」→算数科を中心に、「楽しく、面白い」「わかる」授業、そして「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現を目指しながら、学力の向上を図る。</p> <p>②「心の教育」→児童の自己肯定感を高める活動を通して、自尊感情を高める。また、授業や学校行事等の教育活動において、「元気なあいさつ」「思いやりのある言葉づかい」の徹底した指導を行う。さらに、道徳教育や人権教育を通して心の教育の充実を図る。</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		5 最終評価		主な担当者		
重点取組		成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価			学校関係者評価	
評価項目	取組内容			進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○図書室の貸出目標冊数を達成した児童80%以上	・学力向上対策シートを用いた研修を行う。 ・全国及び県の学習状況調査の結果の共有・改善のための職員研修を行う。 ・朝の読書タイムなど、児童が本に触れる時間を意図的に設定する。	・	・	・	・	・	・	学力向上コーディネーター
	○「主体的・対話的で深い学び」を実現した楽しく分かりやすい授業の実践	○授業に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・昨年度取り組んだ「どの子も意欲的に授業に参加するための手立て」を取り入れた授業を全職員で行う。記述力の向上を目指す授業づくりを行い、よりよい意見をつくりだすための話し合いの仕方を研究する。	・	・	・	・	・	・	学習部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・年間を通して、「自己肯定感の高まりから自他への思いやり」につながる人権集会を年3回設定する。 ・道徳に関するアンケートを実施する。	・	・	・	・	・	・	道徳教育推進教員 人権・同和教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていないと回答した教員95%以上	・毎月1回、いじめの早期発見につながるアンケートを実施する。 ・毎週1回、気になる児童の情報共有の時間を設定する。	・	・	・	・	・	・	生活指導部
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよところを認めていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・授業や学校行事等を通して、児童が夢や目標について自ら考える時間を設ける。 ・「まず、ほめる。ほめることから始める。」指導を行い自尊感情を育てる。 ・計画的に、学年に応じたキャリア教育を計画する。 ・キャリアパスポートの活用を継続し、将来の夢や目標を考えさせる。	・	・	・	・	・	・	・
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「安全に関する資質・能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒70%以上 ②児童の交通事故を0(ゼロ)にする	・長縄や竹馬など、児童の活動意欲を高めるための場や道具を整える。 ・体育委員の活動を通し、休み時間に取り組みたくなるようなチャレンジコーナーを作り、掲示する。 ・「きかんキッズスポーツチャレンジ」の取組を推奨する。 ・年間を通して、地域の方々とともに、職員も輪番で交通挨拶指導を行い、児童の安全意識を高める。 ・学年の実態に応じた交通安全教室を計画し、実施する。	・	・	・	・	・	・	①保健体育部 ②生活指導部
	○食育の推進	○食の大切さに関する独自アンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・給食指導や家庭科等の機会、給食委員会の活動を通し、食の大切さに関する児童の意識高揚につなげる。	・	・	・	・	・	・	保健体育部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ・時間外勤務…1か月について45時間未満 ・時間外勤務…1年について360時間未満	・退勤時刻の設定をする。 ※月～木2.5時間/19:10 金1.5時間(18:10) ・月曜日～木曜日の最終勤務時間の自己申告を行う。 ・必要な会議、連絡会の精選や、計画的・効率的な運営・ペーパーレス化を図る。	・	・	・	・	・	・	管理職
	○業務改善への意識の向上	○1年間で業務改善を3つ以上行う。	・業務改善についての職員研修を行う。 ・年休を取得しやすい雰囲気創り。 ・若手職員に業務の効率化につながる研修を行う。	・	・	・	・	・	・	管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		5 最終評価		主な担当者		
重点取組		成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価			学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容			進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		評価	意見や提言
○特別支援教育の充実	○教員の特別支援教育への意識の向上と支援のあり方の理解。	○特別な支援が必要な児童への支援のあり方の理解に関するアンケートで肯定的な回答の教員95%以上	・特別支援教育に関する研修会を年に5回実施する。 ・校内教育支援委員会を通して、情報共有を行う。	・	・	・	・	・	・	特別支援コーディネーター
○学校教育目標の共有	○学校教育目標の児童・保護者・地域での共有化と、外町地域全体で児童の育成に関わるという意識の向上。	○独自アンケートで、学校教育目標を答えられる児童・保護者80%以上学校教育目標を	・学校だよりやホームページの更新を通して、学校教育目標の浸透を図る。	・	・	・	・	・	・	管理職

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------